



JCライフ

2010年1月号



今月のラインナップ

- 2010年度(社)尾道青年会議所 理事長所信 掲載。
- 鍛冶川理事長 新年のご挨拶
- 福井 シニアクラブ会長 新年のご挨拶
- 1月4日 初詣記事
- 2009年度 卒業例会記事 (09総務 安部委員長の声を掲載)
- 平谷市長表敬訪問 (2009年10月)
- 今月の新入会員紹介 (安楽城大作 君、川原浩太 君)
- 2月例会 告知
- 今月の委員会報告 (委員長の抱負)



2010年度 (社)尾道青年会議所 ロゴマーク

情熱 PASSION and WILL

～志と活力あふれる、魅力あるJCへ 今、飛躍の時～

2010年度 理事長 鍛冶川 立章

【はじめに】
私達が生まれ育ったまち、尾道。海と山と川が織りなす多種多様な豊かな尾道ならではの美しい景観があり、古より良港として、中世、近世を通じて繁栄してきた。商人のまちとしての気質があります。まちの繁栄を通じて、神社仏閣の寄進や、文人墨客との交流が行われ、私達の誇るべき文化が発展しました。そこには、このまちを愛し、誇りにおもう先人達が多くいました。私達が受け継いだものは何でしょうか？ 今の時代を生きていく私達の誇りとは何でしょうか？ 未来へ継承すべきものは何でしょうか？

「明るい豊かな社会」を築き上げることを理念とする私達は、責任ある世代として、高い志と青年らしい活力を持って、情熱的にまちとひとに関わりを持つことにより、未来へ繋がる「誇りある尾道」を作り上げなくてはなりません。決して傍観者であってはなりません。自ら「ひと」と「まち」に向き合い、語り合い、JAYCEEとして汗を流して行動し、自らの手で次の世代に繋がる未来を創り上げていかなければ、私達自身の誇りを得ることは出来ません。先人達が築いてきた軌跡を、今を想い、未来を語り、今と未来には美しい花が咲くと信じて、今踏み出す一歩は、必ず未来へと繋がる一歩です。恐れず、止まらず、歩んで行こう。夢と希望と情熱を胸に。今、飛躍の時。

【魅力あるJCの創造】
2008年12月にスタートした公益法人制度改革。私達の組織は、大きな岐路に立っています。青年会議所としての存在意義を、会員全体の統一した意識のもと、公益社団法人か、一般社団法人かの選択をしなければなりません。財務体質の一元化やコンプライアンスの遵守、情報の開示といった公益法人としての組織強化も必要です。その中で、忘れてはならないものがあります。それは、1949年に「新日本の再建は、我々青年の責務である」と全国各地で志ある若者により青年会議所運動が始まり、この尾道でも1957年に全国12番目の青年会議所として運動が始まり、53年間継承されてきた歴史や誇るべき志です。この1年は、会議所のまちにおける存在意義を再認識し、未来を見据えたより強固な説得力のある組織として飛躍するための大切な時間です。しかし、決して恐れることはありません。公益法人制度改革は、私達の誇りと未来への希望を作り上げる切っ掛けなのです。魅力あるJCの創造へ、勇気を持って進んで行こう。

【魅力あるまちづくり】
私達が住むこのまちは、私達だけのものではなく、次の世代から預かっている宝です。郷土愛を継承し、より魅力あるまちを作り上げることは、私達の世代的責務です。私達はこのまちの魅力をどれだけ理解しているのでしょうか？ これまでがもたらした魅力あるまち、誇れるまちになるにはどうしたらよいのでしょうか？ 私達がこれまで展開してきた運動は、まちの自信であり、誇りです。しかしその運動は、私達だけで出来るものではありません。まちにある「市民」「行政」「企業」のそれぞれの力を相乗的に活用することで、私達の住む尾道の魅力を理解し、私達を含めた市民が愛着を持ち、このまちに住むことへの誇りを持つようになり、まちの心に強く根ざし、「まち」と連携して展開していくべきです。その運動主体として、その時代や地域に適した活動を展開していく団体、それがJCなのです。まちに出よう。まちを歩こう。まちのひとと語り合おう。

【尾道ブランド】
私達は何のために商売をしているのでしょうか？ 私達は、JC会員であるとともに企業人です。JCで培った経験を生かし、まちの発展に寄与し、それを自らの企業の健全な発展に繋げなければなりません。必要とされる価値を向上させるには、「ひと」と「まち」の存在を忘れてはいけません。「ひと」とは、お客様や商売に従事するひと。「まち」とは商売をする場所であり、企業価値を向上させる場所です。企業価値を向上させるには、ひとやまちから信頼され、必要とされる価値を向上させるには、尾道のまちには、商活動を通じて、神社仏閣の寄進や、文人墨客との交流を行い、まちの経済的発展・文化的発展に寄与した先人達が多くいました。時代は変わっても、心意気はそのままだ。私達は先人達のまちに対する誇りを受け継ぎ、「尾道ブランド」に貢献し、このまちに誇りを持って、存在価値を向上させるべく、今、飛躍の時。

【共により、次代への誇り】
この国を愛し、自らのまちを誇る事のできる「人財」を育成すること、今を生きていく私達の使命です。子ども達は、家庭のみならず、今の子ども達は親やまわりの大人達の背中を見て、どう思っているのでしょうか？ 私達は子ども達の生きる手本として行動しているのでしょうか？ JC(JAYCEE)とやさしさにあふれた社会を築き上げるためには、学校教育だけでなく、家庭教育に力を入れる。「公共心」「道徳心」「倫理観」が何よりも重要なポイントではないでしょうか。それならば、私達人ひとりが、今一度襟を正し、その責任と義務を自覚し、親としての生き方、まわりの大人としての生き方を通じて、未来を担う子ども達に今を生きていく私達の「誇り」を継承することが必要です。子ども達に誇りを持って、まわりの大人が愛され、たくましく生きる力を育むことは、必ずまわりの活力へと繋がります。子ども達の健全な育成のため、まわりの大人としての教育力を通じて、子どもと大人が共に成長すること、明るい豊かな社会を築き上げよう。

【積極的な拡大】
会員拡大は、JC運動の根幹を担う活動です。拡大はセールスと一緒です。販売する側が、その商品に愛着や誇り、そして商品の知識がなければ、どうして売ることができるといえるのでしょうか。購入する人がその商品の魅力を感じなければ、どんなに優れた商品でも買ってもらえません。まちづくりを真剣に考え、運動をさらに積極的に展開していくには、広く会員を求め、JC運動の趣旨に賛同し、共に行動する「人財」が必要で、そのためには、会員一人ひとりが、JC運動と自らのLOMに誇りを持ち、自らを律し、活動を真剣に考えなければいけません。拡大を傍観者ではなく、自らの事と考えるべきです。拡大を傍観者ではなく、自らの事と考えるべきです。組織に力強いJC運動であり、繋がって行きます。会員拡大は、一生懸命語り合える友を探そう。そして自らのまちへの想いを見つめ直そう。積極的に、情熱的に拡大に取り組みよう。

【力強く、魅力ある組織へ】
私達は何のために何を目標としてJC運動を行うのでしょうか？ それは、JCIワールドの「THAT SERVICE TO HUMANITY IS THE BEST WORK OF LIFE」(人類への奉仕が人生最善の仕事である)と「一文化、一綱領の「青年」としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう」という言葉で明確に示されています。確固たる信念、強い意志のもと、個々の力を結集し行動することで、力強いJC運動を展開されます。その時にまず考えなければならないのは、私達の運動が広くまちのニーズを把握したものでないか、ひとやまちの期待や信頼を得られる運動でなければ、それだけのひとよりがります。ひととまちの期待や信頼を得るためには、積極的に広報し、まちのニーズを把握し、運動を広く展開し、積極的な広報により、対外的な詳細を得るサイクルが必要で、そのことによって、私達の組織は力強く活性化し、ひとやまちの期待や信頼を得られ、我々の運動をより魅力的なものへと進化させることができます。情熱を持って進化させよう。

【交流による団結】
「ひと」や「まち」に対する活動は、一人の力では成し得ません。志を同じくする会員が力をあわせ、汗を流し、関わる人全てに感謝することで、深い絆が生まれ、その会員相互の強い結束は、必ず情熱的なJC運動へと繋がります。志高く継承されてきたJC運動を、より発展的に次の世代へ継承していくには、すでにいる現役メンバーと300名を超えるOB・会員・特別会員とのネットワークが不可欠です。また、日本JC・中国地区・広島ブロック・しまなみ3JCといったLOM間・メンバー間の交流は、必ず私達のLOMの活力に繋がります。出向や各種大会・セミナーへの参加を通じて、気付き、気付き、経験したこと、LOMに持ち帰り、実践することにより新たな活力が生まれます。同じ志を持つ会員、その家族、OB・会員、特別会員、そして様々な人との交流を通じて団結し、魅力あるJC運動を展開しよう。

【おわりに】
「ひと」と「まち」を育て、「まち」は「ひと」を育てます。JCは常に「ひと」と「まち」とともに歩み、時代の先駆者として志高く運動を展開してきました。社会情勢の変化によって、私達を取り巻く環境が変わっても、いつの時代にも私達の果たすべき役割は必ずあり、無限の可能性を秘めています。私達は、まず一歩を踏み出そう。次は10年へ、そして可能性溢れる明るい未来へ、向けて。「英知と勇気と情熱」を持ってJAYCEEによる、「明るい豊かな社会」の実現を目指そう。今、飛躍の時。

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。本年も引き続き倍旧のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

さて、いよいよ2010年です。21世紀になり、新しい10年の区切りを迎えます。2010年代の幕開けに、皆さんはどんな夢や希望を抱かれていますでしょうか？

私たちが受け継いだもの、私達の誇り、未来へ継承すべきものは何でしょうか？

私達の理念は「明るい豊かな社会」を築き上げることです。責任ある世代として、高い志と青年らしい活力を持って、情熱的に「ひと」と「まち」に関わりを持つことにより、未来へ繋がる「誇りある尾道」を作り上げなくてはなりません。私達を取り巻く環境が変わっても、いつの時代にも果たすべき役割は必ずあるはずで、無限の可能性を秘めています。そこで本年度は「情熱」をテーマに、「PASSION and WILL～志と活力にあふれる、魅力あるJCへ 今、飛躍の時～」という活動方針を基に愛するべき尾道の為に活動します。決して傍観者でなく、「ひと」と「まち」に向き合い、汗を流して行動し、夢を語り合い、自らの手で次の世代に繋がる未来を創り上げることで、私達世代の誇りを得ることが出来るのです。そのためにまず私たちがこれからの10年、可能性溢れる明るい未来に向けて一歩を踏み出しましょう。そして私自身も理事長として全力を挙げて、情熱を持って邁進致します。皆さんもどうか情熱を持って、自身の誇りを次代へ繋げるJC運動を通じて、「誇りある尾道」の為に行動しましょう！ どうぞ一年間よろしくお願い致します。

平成22年 元旦

シニアクラブ会長挨拶



平成22年の新春を迎え、謹んで御慶び申し上げます。昨年は、機能不全に陥りつつあった既存の秩序・慣習から脱し、新たな枠組みを模索する創造的破壊の動きが様々な分野で拡がり、まさに新時代の幕開けを予感した一年となり、その年の世相を表した漢字は「新」が選ばれました。このような時代背景の中、わが街では、尾道青年会議所に熱い期待が寄せられています。元気で活力があり、魅力あるまちをめざすには、街作りにも企業にもすばらしいリーダーの育成が待たれています。尾道青年会議所活動の充実こそが、全てを解決する道に繋がって行きます。足元は大変厳しい年ですが、青年会議所での活動の際は、一段と高い見地から全ての事象を見つめ、周囲の人たちを牽引し、地域を、企業を活性化しようとの強い気概を持って行動して下さい。今、自分たちがリーダーとしてやるしかないという覚悟のある行動をとれば、結果が出るし、自然と迫力も伴ってくるものです。シニアクラブの会員の皆様は、ますます御健勝にて御活躍の事と存じます。シニア会員も300名を超えました。尾道JC・Cの同窓生300名、まさに地域にとっては、大きな力であり、大きな力です。シニアクラブ年一回の集いや、現会員が呼びかけていただく交流の機会には、時間が許せる時は気楽に顔を見せて下さい。尾道JC・Cの同窓生としての心の親しみ、なつかしさ、なんの気構えもなしに交流し合える仲間として・・・そして現役との交流が元氣な街作りにつながると思っています。本年、鍛冶川理事長の強いリーダーシップに期待すると共に、シニアクラブ会員との交流が増すことを楽しみにして、新年の挨拶にさせていただきます。



初詣に参列された正副理事長、事務局メンバー (良神社にて)

1月4日
良神社で初詣
2010年1月4日、鍛冶川理事長をはじめとする正副理事長、事務局メンバーの皆様が良神社へ初詣に行つてまいりました。当日は晴天に恵まれ、まさに2010年度のスタートにふさわしい最高の天気でした。永井宮司による祝詞とお祓いを受け、参列された皆様は気持ちを引き締まる思いでした。

卒業例会

2009年12月16日



昨年12月16日、卒業例会が行われ、6名の卒業生が尾道青年会議所を卒業されました。会場では総務情報委員会が作り上げた映像が随所で流され、多くの出席者が感動(時には笑いもありました)されました。

卒業式 テーマ『伝道』を終えて

2009年12月16日、昭和44年生まれの6名のメンバーの方が尾道青年会議所をご卒業されました。当日は多くの先輩方にもお越し頂きまして、厳粛かつ華やかに卒業生の皆様を送り出すことができました。師走のお忙しい中、誠にありがとうございました。

例会前に卒業生の皆様にお集まりいただいた際には、和やかに普段と変わらぬ冗談が飛び交っていましたが、いざ式が始まり、メッセージVTRを見られている時は皆様、感慨深い表情をされていたように感じました。やはり苦勞を共にされた方からの言葉には重みがある、と思わずにはいられませんでした。そして、一転したように、送辞を受けられる場面になると、晴れやかな表情をされておられたように感じました。送辞を読みあげる者に「後を託すぞ!」と言われんばかりの顔でした。

懇親会を終えた後、卒業生の皆様から「いい卒業式だったよ!」「よかったぞ。」とお声をかけて頂いたことで、企画・準備に約8ヶ月かけて委員会で練り上げてきた苦勞が、喜びに変わりました。

最後になりましたが、ご卒業されました6名の皆様、この度はおめでとうございました。また、長いJC生活お疲れ様でした。

これからも現役メンバーに対し、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

2009年度 総務情報委員会 委員長
安部 昭一郎

ご卒業された皆様 (50音順)

石津 謙明 先輩	桃谷 慎二 先輩
桑田 政文 先輩	山路 浩史 先輩
高垣 昌明 先輩	吉原 弘貴 先輩



平谷市長表敬訪問

昨年10月23日、鍛冶川理事長をはじめとする正副理事長と事務局メンバー(当時は予定者段階)が平谷市宏尾道市長を表敬訪問しました。テーマ「情熱」と理事長所信を発表した後、市長とのお話の中で様々な意見の交換が行われました。お話の中で平谷市長は「君達、若い世代が頑張ってくれることで、このまちも若返る。是非がんばってほしい。」という熱いエールを送って頂き、また最後には「相談があればいつでも市長室を訪ねて来てください。何かヒントになることがあるかもしれません。」と力強い言葉をかけて下さいました。

2月例会のお知らせ

2月16日、ベイタウン尾道産業会館において、漫画家かわぐちかいじ氏をお招きしての公開例会が開催されます。「リーダーの条件～誇りある明日の為に～」をテーマに、今の次代を生き抜くリーダー像を軸とした講演で、尾道に必要なリーダーシップとは何かを考えるヒントを得られる内容で行われます。当日はかわぐちかいじ氏の講演と、鍛冶川理事長との対談が催されます。
(ホームページでも紹介しています。http://www.ojc.or.jp/)

新入会員紹介



安楽城 大作 君

プロフィール
昭和57年10月25日生まれ
北川鋼業(株) 勤務
推薦者 坂本篤勇 君 手塚淳三 君
所属委員会 魅力あるJC創造特別委員会

新入会員としての初心表明

この度は尾道青年会議所に入会させて頂き、誠にありがとうございます。諸先輩方と交流していくなかで多くのことを学び取り、当会の発展に少しでも貢献したいと考えておりますので宜しくお願い致します。



川原 浩太 君

プロフィール
昭和55年2月13日生まれ
川原食品(株) 専務取締役
推薦者 本多隆士 君 片岡彰一郎 君
所属委員会 拡大研修委員会

新入会員としての意気込み

去年に引き続き、拡大研修委員会に配属されました。麻生委員長の情熱拡大30パーセント、24名の新規拡大という高く掲げられた旗を目指し、いちメンバーとして、そして幹事として、精一杯やりあげちゃりたいと感じております。

今月の委員会報告 (今月は委員長・特別委員会副委員長・事務局長に新年の抱負を頂きました。)

魅力あるJC創造特別委員会

我々の委員会は昨年の室合同委員会以来、「情熱」と「愛情」を合言葉に結束を深めてきました。その培ったチームワークで、当委員会名でもあります魅力あるJCを創造できるようにメンバー丸となって、これからの一年間、精一杯事業に取り組んでいく所存です。まずは公益法人制度改革と桜事業。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
副委員長 片岡 彰一郎

尾道プライド育成委員会

当委員会は「尾道プライド」の継承をテーマに掲げています。尾道という街を誇りに思い、愛する熱い思いを人々に知ってもらいたい。その為にはまず自分達が、誇りある尾道市民にならなければいけません。その為には何かできるのか?一年を通じて、調査、研究、実践したいと思っております。

委員長 川口 宗太郎

拡大研修委員会

鍛冶川理事長のテーマ「情熱」のもと、委員会はスローガン「情熱拡大30%」を掲げ、一年間全力拡大を協力し合って参ります。是非とも諸先輩方をはじめ、全メンバーのお力添えを頂きます様お願い申し上げます。

委員長 麻生 裕雄

会員交流委員会

会員交流委員会ということですので、OB・現役、そして家族の方の皆様に御出席いただき、楽しんで交流を深めて頂けるかを念頭に一年間頑張りたいと思っております。そのためにはまず、委員会内部で楽しんでいきたいと考えております。皆様一年間どうぞ宜しくお願い致します。

委員長 大村 芳弘

魅力あるまち創造委員会

まちのちから創造室 魅力あるまち創造委員会委員長の中浜です。2010年度は、テーマにも掲げさせてもらいました「体験」を自分自身で十分に味わって行きたいと思っております。皆様には色々お願いすることもありますが頑張っていきたいと思いますので、1年間よろしく申し上げます。

委員長 中浜 聖登

次代の誇り育成委員会

2010年度(社)尾道青年会議所 次代の誇り育成委員会委員長を仰せつかりました、太田雄介です。今、子どもを育てるには何が大事なのか。まずは親、家族、そして仲間、学校であり、地域、さらにそれらを包んでいる自然環境であると考えます。この恵まれた自然環境の中で子どもたちとコミュニケーションを持ち、数多くふれあい、思いやり、ルール、規律の大切さを伝え、夢や情熱を持つ心を育てていきたいと思っております。一年間情熱の心で精一杯頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

委員長 太田 雄介

総務広報委員会

当委員会は「えがお」をテーマに掲げました。メンバーが「えがお」で青年会議所活動を行っていただけるようにはまず委員会が「えがお」になりたいと考えています。青年会議所から故郷尾道に「えがお」を広げたいと思っております。1年間よろしく申し上げます。

委員長 辻 健志

事務局

2010年度事務局は鍛冶川理事長のもとテーマを「直往邁進」と致しまして、メンバーの皆さんと連携を取りながら1年間突き進んでいきたいと思っております。鍛冶川理事長が掲げる「情熱」を委員長、副委員長の皆さんに青年会議所活動を通じて思う存分表現して頂けるよう、縁の下の力持ちとしてフォローしていき、情熱を胸に脇目を振らず邁進していきたいと思っております。

事務局長 沼田 邦博

次回予告/1月例会・総会、新年宴会、京都会議、ブロック新春会議など
情報盛りだくさんでお届けします。

ホームページリニューアル。
次号よりアクセス数を紙面で発表します。

尾道青年会議所

検索

http://www.ojc.or.jp

(社)尾道青年会議所 総務広報委員会

〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112

ホームページも
要チェック!!



編集後記

尾道青年会議所の皆様、明けましておめでとうございます。本年度、総務広報委員会に配属されました、前田光輝です。そして、本日号から12月号までのJCライフを担当させていただきます。

私の今年の抱負は総務広報委員会の委員として、円滑な例会運営や広報活動などができるようがんばりたいと思っております。今年、1年どうぞよろしくお願いいたします。